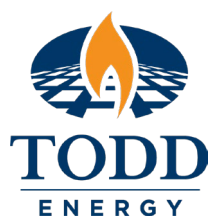




Todd Energyは ディザスタ リカバリの最新化と 合理化を実現



ネットアップのストレージ テクノロジが ミッション クリティカルなデータセットに対して 最大限の耐障害性を提供

1929年創業のTodd Energyは、ニュージーランドを拠点に天然ガス資源供給事業を手掛ける大手企業です。Todd Energyはニュージーランド初の国産石油会社で、マッキー マンガヘワ油田とカブニ油田の2箇所で操業しています。

Todd Energyは、地殻変動に関するデータや地表下で測定されたデータセットなど、事業全体で膨大なデータ ボリュームを管理しています。同社が事業を継続するためには、いつでもどこでも必要なデータに一貫して安全にアクセスできるようにする必要があります。いかなる期間でもダウンタイムが発生すると、事業に直接的な影響を及ぼします。

リカバリ時間を 数日から数分に 短縮

「SnapMirrorがなければディザスタ リカバリを実行できませんでした。以前のシステムでは、バックアップが利用可能かどうか、利用できても読み出し可能かどうか、いつも確信が持てませんでした。もうバックアップについて心配する必要はありません。SnapMirrorがすべてを解決してくれます」

Todd Energy サービス デリバリティマネージャー Keith Chamberlain氏

Todd Energyは、ネットアップおよびネットアップ パートナーであるCitrus Consultingとの連携を通じて、ディザスタ リカバリとバックアップのためのインフラを最新のものにして強化し、ビジネス継続性を高めるとともに、増え続けるサイバーセキュリティの脅威に対する保護を固めました。

ディザスタ リカバリの強化によって精力的な成長戦略に対応

5年前、Todd Energyは100名足らずの従業員で運営されていました。現在は500名以上の従業員と契約社員を抱え、全国的なエネルギー需要の増加によって急成長しています。また、買収によって事業規模も飛躍的に拡大しました。

エネルギー分野の他の企業と同様、Todd Energyで成功の鍵を握っているのはデータです。地質モデリングから生産オペレーション、計装に至るまで、企業のあらゆる部門でデータを利用して高度な分析を行い、業務を計画しています。セキュリティと可用性を維持しながらすべてのデータを管理することは困難を極め、既存のテープ インフラは寿命が近づいていたため、同社のディザスタ リカバリ能力は瀬戸際に立たされていました。

「データに関する当社の最大の課題は、その量と多様性、そしてスピードです」と、Todd Energyで情報管理とテクノロジーの責任者を務めるJames Blair氏は言います。「当社は200TBほどの物理容量を備え、約80TB分を長期バックアップしています。事業の継続を可能にするには、災害から容易に復旧できるようにする必要があります」

データ パイプラインを開く

DR機能を最新化するには、クラウド プロバイダ間でデータをシームレスに移動できるエンタープライズ規模のハイブリッド インフラが必要である、とTodd Energyは考えていました。地理的に分散した環境では、アプリケーションとユーザが必要とする強固な機能と安定性を備えた、柔軟で使いやすいソリューションが必要でした。

「当社は成長段階にあり、応急処置的な解決策は望んでいませんでした」と、Todd Energyでサービス デリバリティマネージャーを務めるKeith Chamberlain氏は述べています。「時代後れの機器を使用していたため、導入や設置が容易で、かつ事業拡大に備えて拡張性のあるソリューションを配備して市場に参入する必要がありました」

Todd EnergyはネットアップパートナーであるCitrus Consultingと協力して、ネットアップ ストレージを基盤とするバックアップとDRのための新たなインフラを導入しました。CitrusとネットアップはTodd Energyと緊密に連携し、ソリューションが同社の仕様どおりに設計されていることを確認しました。

「当社の戦略に沿った目的に合うソリューションが必要でした。Citrusおよびネットアップとパートナーを組んだことで、そのソリューションをともに構築することができました」とChamberlain氏は言います。「この種のソリューションとしては、ここニュージーランドで初めて開発、導入されたものであり、期待をはるかに超えるものでした」

Todd Energyは、最新のビジネス継続性インフラを導入したことで、国内各地の社内チームに常時稼働のデータ サービスを提供できるようになりました。ソリューション導入後は一度もサービス停止を経験しておらず、リストアのための時間も大幅に短縮されました。

データ環境を保護しながら設置面積を節約

バックアップとDRのためのハイブリッド ソリューションに移行することで、Todd Energyはエネルギー消費量を削減し、機器の凝縮によってラック数を5台から3台に減らして、貴重な施設面積を節約することもできました。新しいハイブリッド モデルでは、アプリケーションのニーズに応じて、クラウドとオンプレミスのリソース間でデータを簡単に移動することができます。Active IQ® Unified



「SnapMirrorがなければディザスタ リカバリを実行できませんでした」とChamberlain氏は言います。「以前のシステムでは、バックアップが利用可能かどうか、利用できても読み出し可能かどうか、いつも確信が持てませんでした。もうバックアップについて心配する必要はありません。SnapMirrorがすべてを解決してくれます」

Managerにより、IT管理者はすべてのシステムの健全性と利用状況をリアルタイムで一元的に監視できるため、臨機応変に意思決定を下すことができます。

「ビジネスの点では、情報やデータへのアクセスがより速くなり、とても良かったと思います」とBlair氏は言います。「また、このプラットフォームは単にデータ ストレージとしてだけでなく、さまざまな用途に利用できます。プラットフォームを拡張してGPU機能に使えるようにしたこと、柔軟性と即応性がさらに高まりました」

NetApp SnapMirror®レプリケーション ソフトウェアを使用すれば、Todd Energyはバックアップについて心配する必要がありません。それを同社は「万事順調」と表現しています。データがオフサイトに複製され、それをものの数秒で取り出せることに自信を持っているのです。数日や数週間、数カ月も要することは決してありません。また、既存の環境にSnapMirrorを導入する作業もシームレスでした。SnapMirrorを基盤とするバックアップとDRのための新たなインフラを使用することで、インフラ全体にわたってVMwareなど他のシステムやプラットフォームと迅速かつ容易に統合できます。新しいハイパーバイザー製品を導入する必要はありません。



SnapMirrorに関する詳細はこちら

NetApp Products

SnapMirror

Active IQ Unified Manager



Citrus Consulting Group



03-6870-7400
(海外から) +81-3-6870-7400

ネットアップについて

ジェネラリストが多い世界で、ネットアップはスペシャリストとしての存在感を示しています。お客様がデータを最大限に活用できるようにすることを1つの目標として、支援に全力を注いでいます。ネットアップは、信頼できるエンタープライズクラスのデータ サービスをクラウドにもたらし、またクラウドのシンプルな柔軟性をデータセンターにもたらし。業界をリードするネットアップのソリューションは、さまざまなお客様の環境や業界最大手のパブリッククラウドに対応します。

クラウド主導のData-Centricなソフトウェア企業であるネットアップは、お客様に最適なデータ ファブリックの構築をサポートし、クラウド対応をシンプルに実現し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザにいつでも、どこからでもセキュアに提供できる唯一のベンダーです。詳細については、www.netapp.com/ja/をご覧ください。



© 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. NetApp、NetAppのロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。CSS-7243-0722-jaJP